

ダ・ヴィンチ

元本確保型の商品ではありません

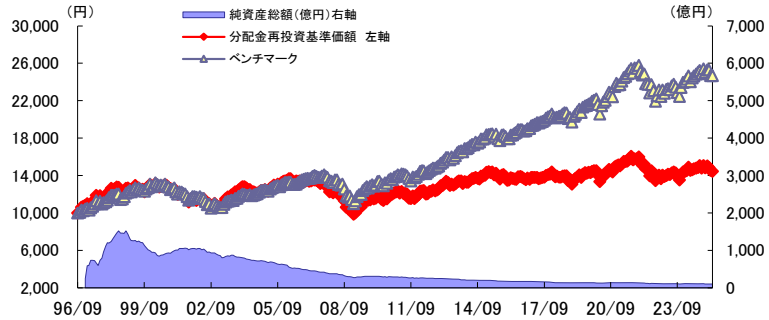
◆ファンドの特色

- ・主な投資対象 日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。(株式先物・債券先物取引等を含みます。また、円短期運用を目的として、非円建ての短期金融商品に投資し円ヘッジすることがあります。)
- ・ベンチマーク MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ)40%+JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)(円ヘッジ)40%+日本円1か月TIBOR 20%を使用しています。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	9,649円
純資産総額	101億円

◆基準価額の推移グラフ



◆資産構成

	基本アセットミックス	ファンド
世界株式	40.0%	39.9%
世界債券	40.0%	46.1%
円短期金融商品	20.0%	13.9%
合計	100.0%	100.0%

◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率 原則として100%為替円ヘッジ

◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3ヶ月間	6ヶ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	-3.80%	-2.13%	-0.71%	-0.62%	0.88%	0.11%	1.30%
ベンチマーク収益率	-2.46%	-0.82%	2.64%	1.18%	2.85%	2.97%	3.21%
差異	-1.34%	-1.31%	-3.35%	-1.80%	-1.96%	-2.86%	-1.91%
ファンドリスク(分配金再投資)			4.60%	7.67%	7.05%	6.53%	6.68%
ベンチマークリスク			4.54%	7.48%	7.07%	6.23%	5.83%

- *ベンチマーク: MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ)40%+JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)(円ヘッジ)40%+日本円1か月TIBOR 20% (1996年9月末を10,000として指数化)
- *ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。
- *収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお、設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。
- *収益率は期間が1年以上の場合は年率、期間が1年未満のものについては年率換算してあります。
- *上記の基準価額、分配金再投資基準価額およびファンドの期間別騰落率は信託報酬控除後のものです。
- *分配金再投資基準価額は税金控除前の価額です。ファンド(分配金再投資)の騰落率は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。
- *本ファンドの騰落率をベンチマークと比較して評価することは、特に1年未満程度の短期間については資産の評価時点や評価為替レート等の差異の影響が相対的に大きく、必ずしも適切でない場合がありますのでご注意ください。また、ベンチマークには直接投資することはできず、費用や流動性等の市場要因なども考慮されておられません。

◆ポジション

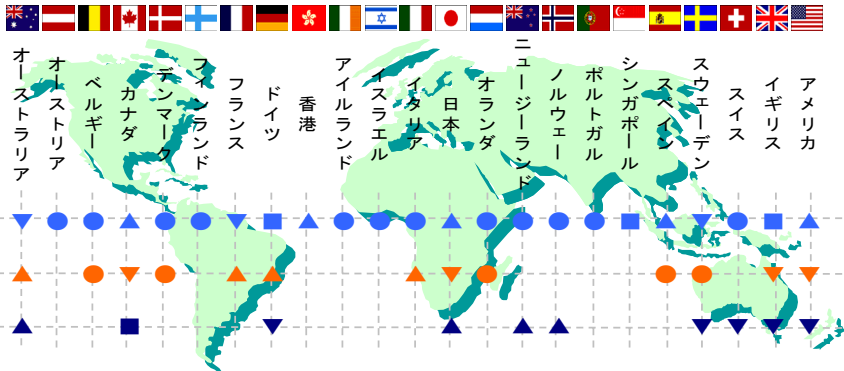
(リバランス時)

*ユーロにつきましては、ドイツで表記しております。

※印のついている部分は、ベンチマーク構成国ですが、リバランス時点でファンドに組み入れていないものです。

- ▲ オーバーウェイト
- ▼ アンダーウェイト
- 上下 1%未満

- 株式市場
- 債券市場
- 通貨配分*



◆投資対象の評価(リバランス時)

<資産クラス間配分>*2
 資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対してやや強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、モメンタムの観点からやや弱気の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点から中立の見通しとしている。

<株式国別配分>
 株式国別配分においては、カナダやスペインに対して強気の見通しとする一方で、スウェーデンやフランスに対して弱気の見通しとしている。カナダに対しては、マクロおよびリスクプレミアムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。スペインに対しては、モメンタムおよびバリュウの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、スウェーデンに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。フランスに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<債券国別配分>
 債券国別配分においては、イタリアやドイツに対して強気の見通しとする一方で、アメリカや日本に対して弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ドイツに対しては、マクロおよびバリュウの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリュウおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。日本に対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

<通貨配分>
 通貨配分においては、オーストラリアやノルウェーに対して強気の見通しとする一方で、イギリスやスウェーデンに対して弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、マクロおよびバリュウの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ノルウェーに対しては、ファンドフローおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、バリュウおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。スウェーデンに対しては、バリュウおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

本資料中の資産構成、投資対象の評価等は、過去の一時点におけるものであり、以後変更される場合があります。
 *2 株式/債券/円短期金融商品間の資産配分、大型株/小型株間の配分および一般優良株/テクノロジー株間の配分を含みます。

■「ダ・ヴィンチ」の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法(昭和23年法第25号)第5条の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力が発生しております。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証するものではありません。■MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者(以下総称して「MSCI当事者」といいます)は、MSCIの情報について一切の保証(獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害(逸失利益を含みます)およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。